

第3回伊賀市食育推進計画策定会議 議事録

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>1 開会</p> <p>皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから、第3回伊賀市食育推進計画策定会議を始めさせていただきます。審議に入るまでの間、進行を務めさせていただきます、私伊賀市産業振興部の堀と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>尚、会議の公開でございますが、伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱によりまして、審議会等の会議は原則公開とし、会議の傍聴を認めておりますことから、本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等がありますので、ご了承を頂くとともにご理解をお願いしたいと存じます。また、本日の会議録につきましても公開とさせていただきますこととなります。つきましては、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了解よろしくお願いいたします。それでは、事項書に沿って進めさせていただきます。</p> |
| 事務局 | <p>1 あいさつ</p> <p>それでは、磯部会長からご挨拶をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>こんにちは。本日もよろしくお願いいたします。本日事務局から提出される案は事前に皆様のところへ届いているかと思いますが、随分形になってきました。より良いものにするために、それぞれのお立場からたくさん意見を出してもらえたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議につきましては、委員15名に対しまして、現在13名の出席がございましたので、伊賀市食育推進計画策定会議設置要綱第6条第2項の規定により、当会議が成立しますことを報告いたします。なお本日、山口素生副会長・吉田俊實委員から欠席されることのご連絡を頂いていることをご報告いたします。</p> |
| 事務局 | <p>それでは事前にお送りいたしました資料をご確認させていただきます。事項書に資料一覧を記載しておりますが、それを見ていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 伊賀市食育推進計画(案)、 ・資料1-1 第5章の資料編「食育ピクトグラム」、 ・資料2 今後のスケジュールについて、 <p>以上の3部ですが、資料の不足等はございますか。無い方は事務局にお声掛けください。よろしいでしょうか。今回ご審議いただいた結果を中間案として取りまとめさせていただきますこととなります。よろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>4 議事</p> <p>それでは、この後は「伊賀市食育推進計画策定会議」第6条第1項により、会長が当会議の議長を務めるとありますので、以下の進行について磯部会長様よろしくお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>(1) 伊賀市食育推進計画(案)について</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>はい。よろしくお願いいたします。それでは事項書に沿って進めてまいります。議事です。(1)伊賀市食育推進計画(案)について、事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>失礼いたします。伊賀市農林振興課の上島でございます。よろしくお願いいたします。それでは資料1の「伊賀市食育推進計画(案)」をご覧ください。前回、第2回の策定会議で委員さんから様々なご指摘・ご意見をいただきましたもので、そちらを庁内検討会議で検討・修正いたしました。修正箇所につきましては網掛けで表示しております。こちらお手元の計画のページに沿って説明を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは資料をめくっていただきまして、1ページ目第1章「食育推進計画の概要」という中です。②「食育」をめぐる動きの下に、「食育」とは?というものを付けさせていただきます。食育につきましての概念の記載をさせていただいていたところです。「食育基本法」の全文に基づく記載をした方が良いのではないかとご指摘をいただいております。これにつきましては、原文を確認させていただきましたところ、かなりの長文でしたので、全文を載せるとページ数もかさみますし、分かりにくいという問題もありましたので、ここは現状通りにさせていただければと思います。ただし、第5章に資料編を付けさせていただきます。そちらに食育基本法の全文を載せさせていただきます。こちらで対応させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。つづきまして、(2)の基本理念、同じく1ページ目です。①の最後のところに「食に関わる人々の様々な行動により支えられていることへの感謝の念や理解を深めること。」と以前はさせていただいていたのですが、「感謝の念」というのが難しい、少し分かりにくいというご意見がありました。こちらは「感謝の気持ち」と修正をさせていただきました。つづきまして②の冒頭の部分ですが、「すべての市民が健全で充実した食生活を送る」という表示になっていたものを「市民ひとりひとりが健全で充実した食生活を送る」という表示に訂正をさせていただきました。</p> <p>2ページ目をご覧ください。基本理念の⑤のところですが、「健全な食生活を実現するには、食の安全性を確保することが重要であるため、食の安全性に関する情報はもとより食に関する幅広い情報を提供することに努めること」という表示になっていたのですが、この取組に関しましては市と関係機関が連携してやるべき事だというご指摘を受けまして、こちらの網掛け部分の「市と関係機関が連携して」という文の挿入をさせていただきました。また結びの「努めること」という表記では少し弱いということで「提供すること」という様に直させていただきました。つづきまして、(3)の計画の期間につきまして委員さんからご指摘をいただきまして、計画の途中で食育を取り巻く情勢の変化に基づいて、見直すこともあるというご意見がございましたもので、下の2行目に「ただし、食育を取り巻く情勢の変化等をふまえ、必要な場合には随時計画の見直しを行います。」という一文を追加させていただきました。それと前回「2022(令和4)年度の計画策定日から2025(令和7)年度末までとします。」という文言を強調して字体を変えていましたが、ここだけ字体が違う事にもご指摘がありましたので通常の自体に</p> |

変えております。

つづきまして、8ページ目をご覧ください。第2章の伊賀市の食に関する状況と課題の(3)食生活に関する状況(朝食欠食率・野菜摂取量等)の中で伊賀市内の食の統計のグラフ表示をさせていただいていますが、前回のご指摘の中で、家庭環境や家計に関する状況も載せるべきではないかという意見をいただきました。今回そのご指摘につきましては指摘の統計データの掲載は控えさせていただきたいと思っております。伊賀市の食育推進計画でありますもので、内容はシンプルかつ分かりやすくする必要がございます。掲載するデータ・具体的な例につきましては最低限の表示にさせていただきたいと思っております。統計データにつきましては、人口・健康・食育に関するものを中心に載せさせていただきたいと思っております。よろしく理解をいただきますようお願いいたします。

つづきまして、10ページ目をご覧ください。②の野菜の摂取量についての前文の部分です。野菜の摂取量につきましては、1日あたり350gというのが国の「健康日本21(第二次)」にも記載されているのですけれども、この文中には「350g」という表記がないというものが前回のご指摘の中でありましたもので、こちら野菜摂取量の前に「野菜摂取量は、国が「健康日本21(第二次)」で目標値として定める1日当たり350gに、20歳代以上のすべての年代で目標量に達していません。」というこちらの文中で表記をさせていただいております。

14ページをご覧ください。第3章、食育を推進する取組の2行目でございます。「学校・幼稚園・保育所(園)及び認定こども園等」とありますがこの「及び」が中点になっておりました。他の見出しも「及び」になっていたので統一するべきという意見がございましたので、ご指摘に従いまして修正をさせていただきました。

同じ14ページの最後の行になるのですけれども、「家族や友人等と食卓を囲み、楽しく食事をし、コミュニケーションを図る「共食」の推進に取り組みます。」のこの部分に関してですが、「ともしょく」という文言も入れるべきではないかというご意見をいただきました。こちらに関しましては前回「きょうしょく」という読み方が正しいということでしたので、こちらは正しい読みの方が良いかなと思っております。ただ、「ともしょく」というのは食育を推進するキャッチフレーズのようなものでもありますので、資料編に用語集を作りますので「ともしょく」という読み方もあるという説明を入れさせていただければと思います。よろしく願いいたします。

次のページをご覧ください。最後の網掛け部分になります。こちらにつきましては前回の会議の中で、農林漁業についてもっと子どもも土に触れるような農業体験を勧めていけないといけないのではないかとご指摘をいただきました。それにつきましては①の学校における食育の推進の取組の中で「食を担う多様な関係者との連携・協力を図り、農林漁業や調理等の体験活動及びICT(情報通信技術)等のデジタル技術を活用した学習等を取り入れます。」という文言を追加させていただきました。

次のページをご覧ください。こちらにつきましては学校での調理実習の取組もするべ

きではないかというご意見をいただきましたので、「調理体験等を通じて、生ごみや食べ残しを減らすなど、食品ロス削減に向けた取組を含む食育を推進します。」こちらを追加させていただきます。

つづきまして、16ページの②幼稚園・保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進の中で二つ目の○なのですが、食べ物を美味しいと感じる取組、子ども達に運動をさせて空腹にさせる取組についても取り入れるべきではないかというご指摘をいただきました。それにつきましてはこちらの通り、「おいしく食事ができるよう、体をつかってしっかりあそび、お腹がすく生活リズムの形成に取り組めます。」を追加させていただきました。それと次の○になるのですが、幼稚園等で農業体験や調理体験を取り入れるべきというご意見等も頂きましたもので「生活とあそびの中で、菜園活動やクッキングなど食に関わる体験を積み重ね食べることを楽しみ、食事を楽しみ合う子どもを育てます。」という文言を追加させていただきました。

つづきまして同じページ（3）地域における食育の推進という中の前文の最後から2行目になるのですが、以前ここに網掛けで「箸使いなどの食べ方」という表記になっていたのですが、食べ方は箸使いだけではないであろうというご意見をいただきましたので「箸使い」は消して「食べ方」だけに訂正させていただきました。

つづきまして17ページをご覧ください。①健康寿命の延伸に向けた取組の中で「健全な食生活の実践、生活習慣病等の予防及び重篤化の予防、若い世代からの健康づくりにつながる取組等を推進します。」と以前は記載されておりましたが、生活習慣病の具体例をいくつか挙げておくべきというご意見がありましたので代表的なものとして「高血圧・糖尿病・高脂血症等」を追加させていただきました。

次の○になりますが、若い世代についての取組も書くべきというご意見がありましたので一文追加をさせていただきました。「若い世代には、朝食を毎日食べることや、栄養バランスの取れた食生活など、若い時期から健康づくりや食事について意識を高める取り組みを進めます。」

つづきまして4つ目の○です。こちら以前はなかったものですが歯の健康に関わる標記がなかったのでご指摘をいただきました。こちら追記ということで「生涯にわたり生活の質の向上が図られるためには、いつまでも自分の歯でおいしく食事ができることが大切であるため、歯と口腔の健康づくりに取り組めます。」を追加いたしました。

3つとんでいただきまして、国が勧める食育月間・食育の日に合わせたなにか取組をするべきではないのかというご意見をいただきましたもので、「国が定める「食育月間（6月）」、「食育の日（毎月19日）」に合わせ、食育推進に向けた取組を行います。」を追加いたしました。

次の行の食育ピクトグラムですが、令和3年2月に農水省が作った食育を勧めるピクトグラムがあるのですが、それを使う取組も必要ではないかということでしたので「食育ピクトグラム※等を活用して食育の取組を分かりやすく発信し、全ての市民に受け入れ

られるよう取り組みます。」この一文を追加しました。ピクトグラムにつきましては、配布資料1-1があるのですが、こちらを資料編に掲載させていただきましてピクトグラムに関する情報を計画の中で掲載させていただければと思います。

つづきまして③地域での食育活動の推進の題目の中で一つ目の追加点「地域の田畑で、地域の子どもを対象とした農業体験など、地域が行う活動を推進します。」こちらは前回の策定会議で、地域で子どもを対象に農業体験をされているというご報告をいただき、子ども達に土を触る機会に対する取組として入れるべきではないかのご指摘いただきましたので追記をさせていただきました。もう一つが伊賀市食生活改善推進協議会の取組も地域の活動であるので明記していただきたいとのご意見ありましたので「伊賀市食生活改善推進協議会等の関係団体が地域で行う活動を推進します。」という一文を追加いたしました。

つづきまして、④和食文化の普及と継承に向けた食育の推進で前回までは「食文化の普及と継承に向けた食育の推進」となっていましたが、「料理教室や体験活動等に、郷土食や伝統料理を取り入れることにより、和食文化の普及と継承につなげます。」とつまり「和食文化・日本食」の普及と継承が食育を進める上でメインとなってくるかなと思いついて訂正をさせていただいております。なお、「和食文化の普及と継承」とあるのですが、食文化の普及という表現がおかしいかなという意見がありまして「和食文化の継承に向けた食育の推進」が正しいのではないかとということで見出しを訂正させていただこうかなと思っております。

つづきまして、18ページ目をご覧ください。(4)生産者と消費者の交流促進・環境に配慮した農林漁業の活性化等の見出しなのですが、以前は「環境と調和した農林漁業の活性化」という表示になっていました。前回のご指摘で表示が難しいというご意見がございましたので、ここは「環境に配慮した農林漁業の活性化」に直させていただきました。

次に同じく18ページの「農業体験や地産地消の推進」ということで、訂正箇所2か所ございます。まず1つ目、「地域産の食材や郷土料理等を提供・紹介することで、本市の観光地としての価値を高めます。」こちら実は課題の中に本市の産業振興と観光の促進に努めますとそういうことが書いてあるにも関わらず、観光のことが一言も書いていないとご指摘をいただきましたので検討した結果こちらの一行を追加させていただくことになりました。ご報告させていただきます。2つ目が「地域の田畑や農業公園等の既存施設を活用し、消費者や子どもたちが直接農作業を体験できる場を広げます。」こちらでも地域の取組としまして消費者や子どもたちが直接農作業を体験できる場を設けるべきだというご意見もありましたし、当初の書き方につきましては「既存施設の農業公園等を活用します」というような目的になっておりましたのでここは「農業体験をできる場を広げる」というのが目的でありますので訂正をさせていただきました。

つづきまして、19ページです。③の食品ロス削減をめざした取組とあるのですが、

こちら当初は「イベントや環境学習により食品ロスの削減推進を行います」という表示になっておりましたが、「環境学習」ってなにというご意見がありました。こちら庁内検討会議で調査をさせていただきましたら、ここは「消費者学習」が正しいのではないかということになりました。「消費者学習」というのは消費者に対する消費についての講習会とか、食品ロスをなくす取組についての学習がメインの活動であると分かりましたので、ここは訂正をさせていただきますして「消費者学習等により」という表記に変えさせていただきますいております。

つづきまして、(5)のデジタル技術を活用した食育の展開を推進の中で、ほかの取組は全てSDGsのロゴが入っているのにここだけ前回抜けておりました。ここは合わせて何らかのロゴを入れるべきとご指摘がございまして、委員さんからもここは目標の4の「質の高い教育をみんなに」というこのロゴがふさわしいのではないかとご意見いただきました。庁内検討会議でも検討させていただきましたして、やはり4番ではないかということでこちらを表記いたしました。それと「デジタル技術を活用した食育の展開を推進」で具体的な例を挙げるべきではないかという意見があったのですが、先ほども申し上げましたが、ここはあまり具体例を挙げずにどういう事をするのかという記載のみとさせていただきますたいと思います。実際に言いますと全国的な取組として市のホームページを使った食育推進啓発の活動ですとか、オンラインの料理教室とか、食育推進に係る動画配信なんかもされております。食育アプリの活用ということで食育の事業というアプリもありまして、栄養バランスやおやつの適量を調べる事業用のアプリもあるということでした。こちらにつきましては計画策定後にデジタル技術を有効活用した食育推進に関する検討を進めていきたいと思っておりますので、計画には敢えて具体例は載せないようにしております。よろしく願いいたします。

つづきまして、20ページ目をご覧ください。(6)目標値の設定になります。以前、40歳以上の肥満の割合という目標がございまして、伊賀市で国民健康保険被保険者の内40歳以上70歳未満の人が特定検診で受診してBMI25%以上の割合という目標を入れさせていただきますしておりました。この時に目標が減少という表示になっておりましたが、これは減少ではなく実際の数字を入れるべきではないのかというご意見をいただきました。庁内で検討させていただきましたところこの目標につきましては、国と県の目標に倣って入れさせていただきますこうかと思っておりましたが、県につきましては調査年齢が異なっており、男性に関しては20～60歳代、女性に関しては40歳～60歳代で目標を設定されておまして、伊賀市の調査対象とはずれていることが判明しました。目標に関しては中々正しい情報を入れることが出来ないということで、この目標自体を削除させていただきますたいと思っております。今回の資料からはこちらは消えております。その代わり⑥に「生活習慣病の予防や改善のため、ふだんから適正な体重維持や減塩に気を付けた食生活を実践する人の割合」という目標がありますので、こちらで合わせていただけたらなと思います。

つづきまして⑦をご覧ください。こちら高齢者に対する健康に関する目標がないとご指摘をいただきまして色々調査をさせていただきました。⑦高齢者の栄養状態を改善する。という目標を追加させていただきます。こちら75歳以上の高齢者で、血清アルブミン値3.5g/dl以下の人の割合ということで追加をしております。現状の値につきましては7.97%から令和7年度の目標として6.28%に下げるという目標を追加させていただきます。

⑧学校給食に関する目標ですが、こちら委員様から当初は食材ベースだったところ、金額ベースが正しいのではないかというご指摘がありました。確認させていただきましたところ金額ベースが正しいということでしたので、それに合わせて訂正をさせていただきました。又、当初は伊賀産食材を使用する割合と記載していたのですが、学校教育の調査につきましては県内産も含んだ食材摂取をする割合が正しいということが分かりましたので「学校給食に地場産（※県内産（伊賀産含む））食材を使用する割合」という風に修正させていただいております。目標値につきましても現状の令和3年度69.8%から80%に目標を直させていただきました。

つづきまして⑩の毎日2回以上野菜を食べる人の割合ですが、当初「毎日野菜を食べる人の割合」となっておりますので委員さんから「2回以上」という表記がふさわしいのではないかというご意見をいただきました。庁内で検討しました結果、1日で350gという国の指標がございますが、これに関しては1回でこの野菜量を摂取するのは困難だろうということで、やはり2回以上がふさわしいという意見にまとまりましたので「2回以上」という表記に直させていただきました。目標値につきましては45%と設定させていただきたいと思っております。なお、現状値につきましては、当初県の1日の野菜の摂取量の現状値を入れさせていただいておりますが、伊賀市につきましては今の野菜摂取量を量るのは困難だということで消すべきというご意見もいただきましたので、こちら削除させていただきました。

つづきまして21ページ目をご覧ください。⑰・⑱です。こちら目標値ということで当初「増加」と記載しておりました。しかし増加というのはふさわしくない、数字を入れるべきだというご意見がございまして、現状値から4%UPということで⑰につきましては65%、⑱につきましては55%に訂正させていただきました。

最後に⑳の農業体験の場として、市内の既存農業体験施設を活用する。（※伊賀市民の伊賀市農業公園の利用契約数の増加）ということで当初は75区画というのが実際伊賀市民に使っていただいている区画数なのですが、そこに注意書きということで現在伊賀市民以外の方を含めて98区画使っていただいている旨を記載していたのですが、ややこしいという声もありましたのでその部分を消しました。

つづきまして23ページ目をご覧ください。第4章 食育推進に向けた体制ということで（3）の計画の進行管理のところですが、前回の会議で計画の進行には市民も参加させるべきという声がありました。協議会の設定や条例の制定も検討するべきではない

| | |
|-----|---|
| | <p>かというご意見をいただいております。こちらのご意見をいただきまして庁内検討会議でも審議をさせていただきました。伊賀市の方針としましては第1回の会議の方針のところでも話させていただいたところなのですが、条例の制定などは今のところ行わずに伊賀市食育推進計画庁内検討会議や関係機関の意見を取り入れながら食育計画の進捗状況の確認と見直しを行いまして、進捗状況を市民に公表することで市民からのご意見をいただき、計画の見直しに入りたいと思っております。なお、関係機関からのご意見に関しましては、各担当課がきちんと聞き取りを行いまして計画の進行・管理に入りたいと思っております。ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。説明は以上になります。よろしく願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>はい、ご説明ありがとうございました。非常にたくさんありましたが皆さんご確認出来ましたでしょうか。それでは前回出た意見に関しては修正する又は、掲載しない場合の理由についてもご説明いただきましたけれども、委員の皆様からご意見ございましたらお願いいたします。なお、意見を言われるときには何ページのどこについてというように指摘していただけたらと思います。よろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>2ページ目の上から3番目の「市と関係機関が連携して」という文章があるのですが、もうちょっと具体的な表記があってもいいのではないかなと思うのですが。例えば、今野菜を作っているのですが、野菜を保育園に提供したいとなった場合にはこの場合市と連携するとなるとどうしてももらえるのかなど。例えば、必要としている所と生産者を繋ぎます。とかそういうのがあっても良いのではないかなと思います。やってみた時に自分はどこに声をかければいいのかとか分からないので、連携の部分がもうちょっと分かりやすい表記があっても良いのではないかなと思います。</p> |
| 会長 | <p>よろしいですか、事務局から。</p> |
| 事務局 | <p>すみません、食の安全確保の為に農家さんから市へ連携するという意味ですか。</p> |
| 委員 | <p>最初の文章なのですが、市として具体的にはどうやって動いてもらえるのかなというのが思ったところなのですが。「連携して」だとどうしようかなというのが、文章とはずれてくるかもしれませんが。</p> |
| 事務局 | <p>食の安全ですので県とか保健所さん等と連携して情報提供していくことになると思いますので、関係機関といったらそのあたりになってくると思います。具体例をなるべく省略していきたいなと思いましたがものでこういう書き方になっています。</p> |
| 委員 | <p>了解です。ありがとうございます。</p> |
| 会長 | <p>今のご指摘の文章のところは必ずしも生産者が保育所という一例だけを示しているわけではないので、ここに載せることは難しいかと思いますがこの基本計画に基づいて、市側が必ず年間計画というのをたてられると思います。そこでは食の安全性の確保のところ具体的にどこどこが連携するとかということ、それぞれの部署が明記されると思います。ですから、ここに書いてあるからには市に言えば絶対どこどこに行けばいいということは必ずご説明があると思います。そのあたりは安心されて良いかと思</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>ます。</p> <p>はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。どうぞ。</p> |
| 委員 | <p>18ページの(4)の①の訂正箇所の一つ目の「本市の観光地としての価値を高めます」というところなのですが、前回基本理念のところ「観光促進」がここにだけあるということだったのですが、私としては基本理念の方に「観光の促進」があった方が食育というテーマだと合っているのかなと思っています。1ページ目にある「食育とは？」というところの「食を通じて健全な食生活とか自立する人間を育てる」という食育のところの基本法で推進計画として観光特化、今基本理念にある産業振興というところはあった方がいいのかどうかというのはちょっと疑問に思いました。ただ、2ページ目の基本理念にある④のところ、「地域の特性や伝統的な食文化を生かし、食料生産者と消費者との交流を図る」という最初はすごく良いと思うので、「その続きでする事により」産業振興とか観光というのというのが目的なのかどうかというのが思いまして、難しいのですが第3章からの取組全般についてすごく色々な項目があるのですが、その全体的な目標というか何の為に推進計画を作るのかというのが一つ、伊賀市の食育推進計画を作る目標がひとつかふたつかあると、取組についてもここにいる皆さんとかで何の為にしているのがあると決めやすいというか、考えやすいかなと今更ですがあるかと思います。</p> |
| 会長 | <p>よろしいですか。ご指摘については私も市側がどうしても入れたいのかなと思ったのですが、最終的にやりたいことは地産地消を推進することによって本市の食育の推進に資するというようなことだと思うのですよね。結果、環境振興とか観光の促進があっても良いけれどもそれは個人的目標であってということですね。</p> <p>それとすみません横から口を挟んでいますけども、後半おっしゃったことに関しては、目標というのがこの理念かなと思うのですけれども。ここでは多すぎるということですか。</p> |
| 委員 | <p>そうですね。基本理念に目標という項目があまりなくて、目標値というところが目標なのかなと何となく考えていたのですが。例えば、基本理念の②とか③のところ目標と言っても良いですけど指標というか、誰に対しての計画なのかという内容に感じるもので、この中だと基本理念の①が一番大事なところなのではないでしょうか。</p> |
| 会長 | <p>私が答えることではないのですが、目標値についてはこういうような計画というのは必ず数値目標を設けるとするのがデフォルトなのですね。この目標値で食育の度合いが測れるというわけではないのですが、数値として示せるものを設けておくことがひとつ、市民の方たちがこの内容がどれくらい進んでいるのかというのが目で見て分かるということで、この目標値でというのは非常に苦しいところではあるのですね。</p> <p>全体の目標についてはいかがですか。それについては事務局から説明をお願いします。先ほどの観光の件とそもそもの目標というのは事務局からご説明いただけますか。</p> |
| 事務局 | <p>そうですね、ご指摘の通り①がメインになってくると思います。地産地消を進めて食育に資するというのがメインではあるのですけれども、市としましては本市の産業振興</p> |

| | |
|-----|--|
| | と観光促進に役立てていきたいという気持ちがありましたもので基本理念として挙げさせていただきます。 |
| 会長 | 何か、逆転することは出来ないのですか。こういうことも交えながらみたいな感じで。 |
| 委員 | すみません、観光のところで良いですか。私が前回言っていたものですから。入れていただいたのですけども、この1行目のところですね「生産者と消費者」の消費者のところを地域外も含めて幅広く消費者との交流ということになれば観光に繋がるかと思うのですが、地場産業で地場の人だけなら観光とは全く関係ないものですから、ここにもその事を入れれば後ろのことに繋がるかなと思いますので、その辺を考えていただけたらと思います。 |
| 会長 | この件に関しては持ち帰ってご検討いただくということでよろしいですか。 |
| 事務局 | ご指摘いただいた通り地産地消を進めることで食育を推進するというのがメインでありますので、文面も直すことを検討させていただきたいと思います。 |
| 会長 | あと後半のところに関しては答えてもらっていないかなと思うのですが。基本理念の①が目標ですという回答でよろしいですか。 |
| 事務局 | ①の部分が食育のメインの目標であるかなということでは正しいかなと思います。 |
| 会長 | よろしいですか。 |
| 委員 | ありがとうございます、長くなって申し訳ないです。目標が感謝の気持ちで良いのかなというのがありまして。その④のところの「地域の特性や伝統的な食文化を生かし、食料生産者と消費者との交流を図り」というのは凄く良いと思います。目標がどこからくるのかなというのが12ページの食に関する課題というところから目標って来ているのかなと思います、課題があったり市の食環境があったり食育にしたいというのがある上で目標がでるのかなと思いましたので、目標とか理念の大きいところなのかもう一度検討していただいてもいいのかなと思いました。 |
| 事務局 | すみません、①のところがメインという言い方をしてしまったのですが良く考えさせていただきますして、やはり①全ての理念というのは①が勿論大きな目標ではあると思うのですが②の健全で充実した食生活を送ることを実現というのは食育をしていく上で大事ですし、③の子どもの心身の成長と健康維持、人格の形成というのは学校や幼稚園等で積極的に取り組まないといけないと思います。こちら訂正になってしまうのですけれども、④につきましては訂正をさせていただかないといけないと思うのですけれども、全て伊賀市の食育を進める上でやっていかないといけないことかと思えます。又、課題につきましても目標に関しましては先ほど会長から説明があったのですけれども中々指標にしにくいところもございます。 |
| 会長 | 横からでいいですか。課題の内容は全て理念に入っていると思います。 |
| 事務局 | すみません、こちらの課題につきましては全て理念に入っているということで間違いないです。 |

| | |
|-----|---|
| 会長 | そうしましたらこの④につきましては表現を考えていただくということでよろしくお願いたします。その他ご意見お願いたします。 |
| 委員 | 18ページの「和食文化の普及と継承に向けた推進」というところで食文化から和食文化にしたということでご説明いただいたのですが、多様性を認め合う社会というところで伊賀市は合併前の上野市に住む外国人の割合を超えてきているようなところがありまして多文化共生社会ということで少し「和」だけではないよということを考えて文章を作成していただけると尚良いのかなと思いました。もう一点よろしいですか。推進体制のところを図だと23ページなのですが、計画を策定していただいて推進に関してはご意見を伺っていただくという形で計画を推進していただくということなのですが、これも出来ましたら食育推進会議とか食育推進委員会というものが出来ないまでも1年に一回くらいは何か交流・意見交換会といった形のを市民が保育所と地域、関係団体と入れていただいている各ステークホルダーの方々と意見交換をしていただく場を設けていただくとかそういったオープンな場でしていただくのが良いのではないかなと思います。せっきく3年計画で作るので推進体制をもう少しアクティブなものにしていただけたら良いのではないかなと思いました。以上です。 |
| 会長 | はい。では事務局の方から。 |
| 事務局 | まず一点目にご指摘いただいた食文化ですが、食育基本法と今回配らせていただいたピクトグラムを見ていただけたらなと思います。こちら基本法の中の第7条、ピクトグラムでいうと11番にあたるのですが、日本の食文化を継承・和食文化を伝えようという目標がありまして食育推進計画につきましては食育基本法に基づいた計画でないといけないというのがありますもので。こちらすみませんがこの規定に基づきまして修正をさせていただきますという次第でございます。二点目ですが、伊賀市の食育推進計画の中でオープンな場を設けたらどうかということですが、そういったご意見に関しましては先ほども申し上げましたが各担当からご意見の聞き取りを真摯に行わせていただきまして、それを庁内検討会議でかけて反映させるという方針で今のところ進めたいと思っております。このような回答しかできず申し訳ないです。 |
| 委員 | 各団体さんとかに丁寧に聞き取りをしていただくとかいう形でお願したいと思いません。 |
| 委員 | 私も今彼女が言った④の和食というのが引っかかって、市民なのに日本人が中心というような気がしましたので言わせてもらおうと思ったのですが、何かこの④に国際的な、外国の方も多いのでその子どもたちにも入りやすいような言い方をと思います。④はやはり和食文化と入れないといけないのですか。 |
| 会長 | そこ私がコメントしてもいいですか。私は「食文化の普及」という日本語がおかしいよと言ったのです。食文化とは普及するものではなくてそこにあるのが食文化だから日本語として「食文化の普及」はおかしいよということで、敢えて言うなら「和食文化の普及」かな、と言ったのですが今小学校・中学校の食に関する指導の目標って6つある |

| | |
|-----|--|
| | <p>のですが、その6番目の項目が「食文化」なんです。そこには「食文化の理解と継承」というのがあって「普及」という言葉が無ければ「食文化の継承に向けた食育の推進」としておいてこの③として日本以外の他国の食文化への理解を深め、みたいな項目が入れられるかなと思います。だから「普及」という言葉を消していただいて「食文化の継承に向けた食育の推進」としていただき、一つ目は和食文化で良いと思います。郷土料理・伝統料理と書いてあるので。もうひとつ〇を設けてもらって、例えば「他の国々の食文化を理解すること」とか「日本や諸外国の伝統や食文化を大切には何が必要かを考えることが出来るようにする」とかみたいなことが書かれているのですよ。だからそういう事を入れるとお二方がご指摘してくださった内容はクリアになるのかなと思います。いかがでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございます。検討させていただきます。</p> |
| 会長 | <p>「和食文化の普及」という言葉は残りますので、ピクトグラムにあるような内容も含まれるかなと思います。その他いかがでしょうか。どうぞ。</p> |
| 委員 | <p>10ページの1番上の1日あたり350gの野菜の摂取量とあるのですが、これって実際どのくらいですか。数字で350gとありますがレタス1個が350gくらいだと思うのですがそういう具体的なものがあつた方が分かりやすいのではないかと思います。多分買うときにみんな野菜の重さを見ていないと思うので。</p> <p>それと、20ページの目標値の設定の1番上学校給食のところですが、県内産と金額ベースというのはご説明いただいたので分かったのですが、三重県だと県内産でいうと海産物も入ってきますよね。そうやってきた時に伊賀市でやっているのに海産物を金額ベースで入れちゃうと多分高くつくと思うのですよね。それなら例えば、この前のお話で言うと伊賀米を使っているとかあるじゃないですか、なので別枠にして例えば伊賀産物を使っているとかがあつた方が良いのではないかと思います。県内産と言ってしまうと地産地消だけれども遠い所のも入ってきてしまいますし、海産物を入れてしまうのはどうなのかと思いました。以上です。</p> |
| 会長 | <p>私から意見いいですか。伊賀のものだけをカウントするというのが現場としてはとても大変なのですよ。それはまず数字を出すことが不可能です。お米だけとかだったら、というかお米は100%ですよ。それは本当に考え方次第なのですが少なくとも県内の食材であれば地産地消というのは地域の食を守っていくとか残していくこととあとはエネルギー的に近くのを食べるのが環境にも優しいということになるという2点があるのでそれだったら海外産の魚を食べるよりは三重県の魚を食べることが食育に繋がるのかなと思うので努力目標として伊賀市内の農作物を使っていくのを立てていただくのはいいかと思います。目標値の設定としては難しいかなと現場の話を聞いていて思います。</p> |
| 委員 | <p>分かりました。ありがとうございます。</p> |
| 会長 | <p>はいどうぞ。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>委員</p> | <p>まずはじめの1ページのところなのですが、上から5行目ですね、肥満とか生活習慣病の増加というところですか。これは勝手に肥満や生活習慣病になるわけではないので「不規則な生活による」肥満や生活習慣病になるという1行を入れていただいた方がよいのではないかなと思います。それと果物のことが全然載っていないのですよね。国の新しい高等教育で果物の摂取量のこと載ってましたので、野菜もちろん、他のものもですけど果物のことも載せてあるところがどこかにあればよいのではないかなと思います。それとさっきピクトグラムのことを言っていたのですが、17ページのところで食育ピクトグラムという言葉に注釈を付けるというお話でしたけれども、米印が付いているのがここだけなのです。あと難しい言葉のところは何も無かったのでこの難しい言葉の解説と言ったらいいのでしょうか。文章の長さにもよると思うのですが、総合計画でも他の計画でもそうなのですが、そのページの下段に注釈を入れていただくというのが伊賀市だと大体そうなっていると思います。やはり後ろだと一度見てまた戻ってという作業が読む人の側から立つとちょっと大変かなという風に思うので、伊賀市では注釈は下の方に書いていただいていますし出来たら同じようにしていただけたら有り難いなと思います。それから推進計画の体制なのですが、前も食育推進ネットワーク会議を是非と言っていたのですが、それも難しいという話でしたが、じゃあせめてアンケート調査をしていただきたい。総合計画の中で市民の意識調査をされているのですが、それは大雑把な本当に食育のためだけの取組の中での市民の意識調査なのですが、それでこの食育の中の全部把握できるかって言ったらそれは難しいと思います。本当に大雑把な項目しかしていないので。それだったらもっと詳しくアンケート調査を、これに合った項目に沿ってアンケート調査をしていただければある程度の把握というのは出来るのではないかなと思います。それは是非とも実行していただきたいと思います。以上です。</p> |
| <p>会長</p> | <p>はい、事務局からご回答をお願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>まず一点目の肥満や生活習慣病のところ「不規則な生活による」と入れるべきというご意見ですが、それにつきましてはこちらの方に「ジャンクフードやレトルト食品などの普及により手軽に食事をとることができることが重視され、食の大切さに対する意識が希薄化した結果としての肥満や生活習慣病に繋がる」という意味で書かせていただいたのですがそれでは不十分でしょうか。こちら表記をまた検討させていただきたいと思います。果物についてですが、果物の表示は全くないという言うわけではなく、第3章の(3)の中でご飯を主食としながら副菜を加え適度に乳製品や果物が加わったバランスのとれた食生活を実践します。と一文入れています。他の計画も見せていただいて、果物のことはどこも見当たらなかったものですから今回それに合わせて野菜という書き方でさせていただいた次第で、果物については中々ないというのが現状です。今回は野菜だけの統計でさせていただけたらと思います。ご理解の程お願いいたします。最後に調査をするべきというご指摘をいただいたのですが、今それも検討しております伊賀</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>市で新たにモニタリング制度が稼働するという話が出ておりますので、それを利用しながら年1回の調査をしないといけないということで作業部会内にて検討をさせていただいています。よろしいでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>果物のことは国の行動計画のところの目標値の設定のところに今回新しく果物のことが載っていたのですよ。私、果物のことははっきり分からないので毎日果物を100g未満の割合は何%とかその数字がここに書かれているのですが、せっかく今新しく作っていただくのですから出来たら国の新しく取り入れた項目もきちっとしてほしいと思います。この文章の中で果物のことを書かれていると今言って下さいましたけど、それだったら1日何g摂取できるように頑張ってくださいみたいに数字を、ただ果物を食べてくださいではなく、果物をどれくらい食べたらいというのを明記してもらった方がよいと思います。野菜もさっき言うてくださっていたのですけれども、緑黄色野菜と単横食野菜と摂取のグラフ数が違うのですけれども、そのふたつを合わせて350gとなっています。一般的にまんべんなく食べていただいたらよいのですけれども、緑黄色野菜と単横食野菜と混ぜたのを食べてくださいとなっていますので。よろしくお願ひします。</p> |
| 事務局 | <p>調査をさせていただきますので。入れるものは入れるという風にさせていただきます。</p> |
| 会長 | <p>その他いかがでしょうか。はい、どうぞ。</p> |
| 委員 | <p>もしかしたら一度話に出てきているかもしれないのですが、年齢とかライフステージ毎の気を付けることとかを別枠で入れるのはどうかと思います。他の市の食育推進計画とか分からないのですけれども、ちょっと見たところだと、乳児期・幼児期とか10歳毎とかで気を付けることと、高齢期とか妊娠期とかのものもあるのを見て、例えば今の17ページの地域における食育の推進で若い世代にはとかあるのですけれども、家庭・学校・地域などにそれぞれ年齢に関することが書いてあるのかもしれないのですけれども、ここにバラバラにあると分かりにくいというところもあるかと思います。あとは前回高齢の方のことが載っていないということでしたが20ページの目標値のところを書いただけではちょっと寂しいような気がしたりもしました。ライフステージに合った食育の指針みたいなものがあっても良いのかなと思いましたのでよろしくお願ひします。</p> |
| 会長 | <p>事務局からご回答をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>子どもにつきましては、「健康寿命の延伸に向けた取組」の中で家庭における食育とか、学校や幼稚園の取組とかで書かせていただいていると思います。成人以降につきましては若い世代について今回入れさせていただいたのと、全年齢で生活習慣病の予防に関する取組をしますと、それと高齢者につきましては若い世代の下に「健康寿命を延伸するため、出前講座や健康相談等で低栄養やフレイル予防に取り組みます」というのでカバーできているのかなと思います。フレイル予防というのは特に高齢者の方が寝たき</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>りにならないように更に強い予防をするためにフレイル予防をしているとやっているということでしたので、こちらフレイル予防につきましても先ほど委員さんからご指摘あったのですけれども用語集を作りましてここも米印か何かで分かりやすいように表示させていただこうと思っておりますので、こちらで高齢者に対する取組も含まれているかなと思っております。また生涯にわたって歯の健康もこちらで書かせていただいています。地域における食育の推進の中で成人以降の取組もカバーさせていただいているかと思えます。こちらでご理解いただけたらと思います。</p> |
| 会長 | <p>よろしいでしょうか。これは食育推進計画ですので食育を進めていく枠組みということで、今言っていたようなライフステージのそれぞれ気を付けるべきことというのは凄く大切なことなのですが、それは実際に食育を推進していく実践の場で必要なことになってきます。ひょっとしたら他市や他県でそれが参考資料みたいな形で載っているところもあるかもしれませんが、例えば「食育推進計画ができました」みたいなリーフレットにライフステージのことが書いてあるみたいな感じで具体的に実践するところで市側に是非作っていただいて使っていただけたら良いのかなと思いました。先ほどのお野菜や果物のことなんかもそうです。実際に市民が見て、自分がどういった生活を送っていくのかという媒体の中には非常に必要なことだと思いますので。ただ計画の中には私は結構食育に関する取組が細かく書いてあるなという印象をもって、勿論良いのですけれども、実際にやっていくときにはここに書いていないこともどんどんやっていただかないといけないわけで。ある程度具体性を持たせつつもシンプルに取り組む内容について取り組む側からの書き方をした方が良いのかなというようなイメージを私は持っています。よろしいでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 会長 | <p>その他いかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>すみません、ずっと気になっているのが8ページの上です。中学生の現状の部分がこの表のどこを見ても減少傾向でないものですから、その辺ちょっと言葉を変えていただけたらと思うのですが。令和3年の部分と、その前の30年の部分と同じくらいですし、全国でも三重県でも上がってきているのですね。ですから減少傾向ではないと思いますので精々横ばいくらいでないと言葉的におかしいのではないかと思いますので、その辺よろしくお願いします。</p> |
| 会長 | <p>確かに。しかもこれ縦棒が長いですね。</p> |
| 委員 | <p>1年だけ高いところがあっただけですので。</p> |
| 会長 | <p>はい。まだまだ課題があるということですね。 令和3年の伊賀市は全国より低いというイメージだったのですが、高い年度もありますね。大体低いかな。ではそこは表現を変更してください。 その他いかがでしょうか。 そうしましたら沢山ご意見いただきましてありがとうございます。それでは事務局か</p> |

| | |
|-----|--|
| | ら今までのご意見を受けて。 |
| 事務局 | <p>沢山のご意見をいただきまして誠にありがとうございました。新たにご指摘いただきました事項につきましては事務局で検討・修正等行いまして、磯部会長様とご算段の上中間案として取りまとめさせていただきたいと思っております。後日修正した中間案を各委員様にご報告させていただきたいと思っております。誠に恐縮ですがよろしくお願ひします。</p> |
| 会長 | <p>そうしましたら事務局で修正したものを私の方で確認させていただきたいと思ひます。では次の事項ですが、その他・今後のスケジュールについて事務局からご説明をお願ひします。</p> |
| 事務局 | <p>資料2の横長の資料をご覧ください。今後のスケジュールということでご説明をさせていただきたいと思ひます。本日第3回の策定会議におきまして結果を事務局の方で修正等させていただき、中間案の取りまとめをさせていただきます。中間案につきましては今後庁内検討会議で確認の上、総合政策会議で議会に報告をさせていただきたいと思ひます。議会への報告が終わりましたら本年4月の下旬から5月下旬にパブリックコメントを募集させていただきまして広く市民からの意見を収集させていただきたいと思ひます。パブリックコメントが終わりましたら、意見への対応をさせていただきまして、実際最終案の作成に向けてそれらの意見を取り入れるべきかどうかを確認させていただき、第4回の策定会議で計画案の最終案をご提示させていただきまして、審議をお願ひしたいと思ひます。こちら7月に予定させていただいております。第4回目の審議結果を第5回目に最終確認ということでご諮らさせていただきます。最後9月中旬に答申案として市長にご報告させていただければと思ひます。答申案につきましては計画案について確認、最終案の確定という形で中身の報告をさせていただいて最終的に10月に議会に報告させていただきます。なお、本年7月に予定させていただいております第4回目の日程調整につきましては委員の皆様には改めてご案内をさせていただきたいと思ひております。またご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。以上です。</p> |
| 委員 | <p>はい、今後のスケジュールについてご質問がありましたらお願ひします。よろしいでしょうか。次にお集まりいただくのは7月ということですね。</p> <p>委員の方がパブリックコメントに書き込むというのはありますか。</p> |
| 事務局 | <p>またパブリックコメントをもらった後のこの会議でご意見もらえたらと思ひます。</p> |
| 会長 | <p>はい、分かりました。それでは事項として用意していただいているのは以上ですが、委員の方からなにかございましたらお願ひいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>はい、ご協力いただきましてありがとうございました。それでは事務局に進行をお返しします。</p> |
| 事務局 | <p>磯部会長様、長時間にわたり進行、とりまとめありがとうございました。委員の皆様におかれましては長時間にわたりご意見・ご審議を賜りまして誠にありがとうございました。これでまたご意見いただいたものを中間案として検討し、修正していき、会長にご一任いただき、形として、今もスケジュールを申しましたように庁内の手続き、議会</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>への報告に向けて市民の皆さんにパブリックコメントというようなご意見いただく場を進めていきます。そのご意見をいただいた中でまた皆さんにご意見をいただくという段取りになります。ここまで中間案ということでまとめあげていただいたこと、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本日は長時間本当にありがとうございました。</p> |
|--|--|